

令和2年度事業報告

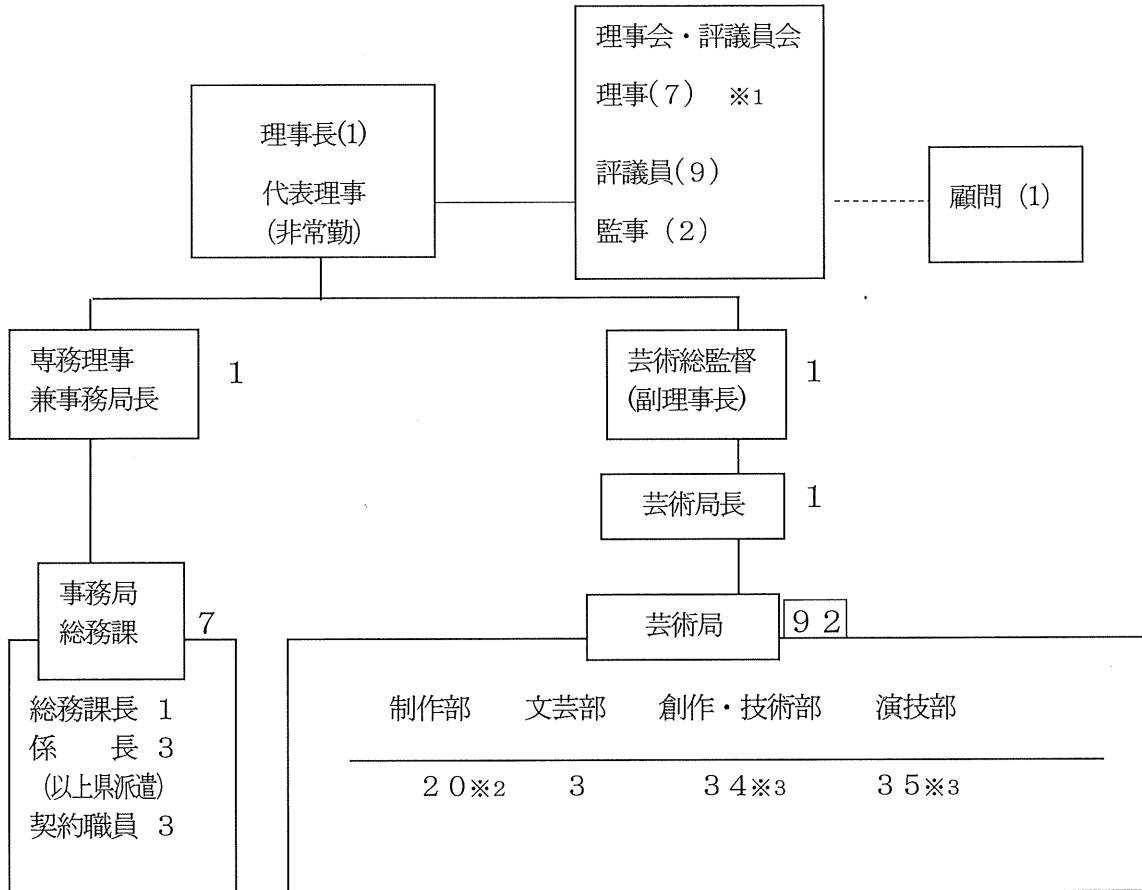
1 事務管理の概要

(1) 理事会等の開催状況

開催年月日	会議	内容	
令和2年4月1日	書面による理事の同意	・評議員会の開催	・全ての理事からの可決を得た。
令和2年4月10日	書面による評議員の同意	・理事・評議員の選任 ・評議員会の決議があったものとみなされる日	・全ての評議員からの承認を得た。
令和2年5月28日	第1回理事会	・令和元年度事業報告 ・令和元年度決算報告 ・令和2年度定時評議員会の招集	・出席者全員が賛成し可決した。
令和2年6月23日	定時評議員会	・令和元年度決算報告	・出席者全員が賛成し承認を得た。
令和2年8月31日	書面による理事の同意	・宮城芸術総監督兼副理事長との演出契約の変更 ・理事会の決議があったものとみなされる日	・全ての理事からの可決を得た。
令和2年12月25日	第2回理事会	・令和2年度事業計画の変更 ・令和2年度収支予算の変更 ・令和2年度第2回評議員会の招集 ・宮城芸術総監督兼副理事長との演出契約の変更	・出席者全員が賛成し可決した。 ・宮城芸術総監督兼副理事長を除く出席者全員が賛成し可決した。
令和3年1月19日	第2回評議員会	・令和2年度事業計画の変更 ・令和2年度収支予算の変更 ・公益財団法人静岡県舞台芸術センター職員給与規程の改正 ・静岡県舞台芸術センター評議員等選考委員会設置要綱(案)及び委員の選任	・出席者全員が賛成し承認を得た。
令和3年3月16日	第3回理事会	・令和3年度事業計画 ・令和3年度収支予算 ・令和2年度第3回評議員会の招集 ・宮城芸術総監督兼副理事長との演出契約の締結	・出席者全員が賛成し可決した。 ・宮城芸術総監督兼副理事長を除く出席者全員が賛成し可決した。
令和3年3月25日	第3回評議員会	・令和3年度事業計画 ・令和3年度収支予算	・出席者全員が賛成し承認を得た。

(2) 組織体制

令和2年度の事務局及び芸術局の組織は、下図のとおりである。(令和3年3月31日現在)



※1 理事、評議員の人数は令和3年3月31日時点の人数による

理事には理事長、副理事長、専務理事は含まない

※2 芸術局長は制作部に再掲

※3 令和3年3月1日現在の創作・技術部、演技部の俳優等の短期契約を含む人数による

(3) 基本財産の状況

運用については、公債又は定期預金による確実な運用に努めた。

(単位：百万円)

	7年度	8年度	9年度	10年度	22年度	23年度	24年度	25年度	令和元年度
基本財産の 造成・取崩	500	500	400	300	△50	△80	△70	△180	△100

※ 令和3年3月31日現在残高 12億2千万円

(4) 許認可及び登記の状況

年月日	内容
令和2年5月21日	評議員の辞任・就任の登記 理事の辞任・就任の登記

2 事業の概要

(1) 基本方針

俳優、専門技術スタッフを擁する本格的な文化事業財団として、舞台芸術の創造と公演活動を行うとともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術家の育成を図り、もって国内外への積極的な情報発信に努め、静岡県の高文化の創出に寄与する。

(2) 財団の事業

【公益事業】

舞台芸術の創造と公演活動を行うとともに、優れた舞台芸術の紹介や舞台芸術に関する人材の育成、舞台芸術活動の支援を行うことで、静岡県の芸術文化の振興を図り、静岡県を舞台芸術の都とすることで、世界各国の文化との交流の促進や、優れた特徴のある静岡県の情報を国内外に発信する事業を実施した。

① 舞台芸術の創造と公演

国内外において、舞台芸術のオリジナル作品等の創造と公演を行うとともに、海外等からの招聘作品の公演を行った。

ア 県内公演

開催日	区分	演目	公演数	鑑賞者数
4月25日 ～5月6日	ふじのくにせかい 演劇祭2020	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止 代替企画としてオンライン を中心とした「くものうえ せかい演劇祭」を実施	(企画数) 6	— (累計視聴回数) 56,088回 (コア企画30,881回) (プロッサム企画25,207回)
5月2日 ～5月5日	ふじのくに野外芸術 フェスタ2020(※)	『アンティゴネ』 新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止	—	—
10月31日 11月1日		『おおっとええっとええじ ゃないか』	4	323人
10月～3月	SPAC秋→春のシ ーズン (中高生舞台芸術鑑 賞事業)	『みつばち共和国』	8	257人
		『妖怪の国の与太郎』	37 (34)	10,045人 (9,566人)
		『病は気から』	19 (17)	3,354人 (3,049人)
		『ハムレット』	20 (17)	3,032人 (2,545人)
合 計			88 (68)	17,011人 (15,160人)

() は、中高生舞台芸術鑑賞事業で、内数

(※) は、ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会からの受託事業

○前記のうち、県内出張公演

開催日	演目	会場	公演数	鑑賞者数
10月31日 11月1日	『おおっとええっと ええじゃないか』	大日本報徳社大講堂前 広場	4	323人 (ふじのくに野外芸術フェスタ)
9月30日、 10月1、2日	『妖怪の国の与太郎』	浜松市雄踏文化センタ ー	4	681人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
10月8日、 9日	『妖怪の国の与太郎』	竜洋なぎの木会館	2	536人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
10月14日、 15日	『妖怪の国の与太郎』	三島市民文化会館	2	822人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
10月21日、 22日、23日	『妖怪の国の与太郎』 (※)	裾野市民文化センター	4	1,366人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
10月28日	『妖怪の国の与太郎』	富士宮市民文化会館	1	72人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
11月4日、 5日、6日	『妖怪の国の与太郎』	静岡市民文化会館	6	1,828人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
11月12日、 13日、14日	『妖怪の国の与太郎』	掛川市生涯学習センタ ー	5	1,138人 (中高生舞台芸術鑑賞事業) 108人(一般公演)
11月19日、 20日	『妖怪の国の与太郎』	沼津市民文化センター	3	1,460人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
11月26日、 27日	『妖怪の国の与太郎』 (※)	浜松市天竜壬生ホール	3	505人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
12月10日、 11日	『妖怪の国の与太郎』	袋井市メロープラザ	3	591人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
12月18日、 19日、20日	『妖怪の国の与太郎』	静岡市民文化会館	4	567人 (中高生舞台芸術鑑賞事業) 334人(一般公演)
1月14日、 15日	『病は気から』	富士市文化会館ロゼン アター	2	837人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
1月20日、 21日、23 日、24日	『病は気から』	静岡市民文化会館	5	877人 (中高生舞台芸術鑑賞事業) 305人(一般公演)
1月27日、 28日、29日	『病は気から』	浜北文化センター	5	1,335人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
2月11日、 12日	『ハムレット』(※)	下田市民文化会館	2	97人(一般公演) 168人(中高生舞台芸術鑑賞事業)
2月18日、 19日	『ハムレット』	浜松市福祉交流センタ ー	3	582人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
2月25日、 26日	『ハムレット』	焼津文化会館	4	1,093人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
3月10日、 11日	『ハムレット』(※)	富士宮市民文化会館	3	702人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)
合計			65	1,167人(一般公演) 15,160人 (中高生舞台芸術鑑賞事業)

(※) は、「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業」との共催

イ 海外公演

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

開催日	演目	会場	公演数	鑑賞者数
—	『マハーバーラタ～ナラ王の冒険～』プロセニウム版	ロシア太平洋国際演劇祭 (ロシア・ウラジオストク)	—	—
—	『ギルガメシュ叙事詩』	ケ・ブランリー美術館 (フランス・パリ)	—	—
合計			—	—

ウ 映像事業

(ア) 経済産業省コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金による公演等

ライブ公演の開催及びその収録映像を活用した動画の制作・海外配信並びに一般公演等を行った。

開催日	演目	会場	内容	追加事項
令和2年10月17日(土) 18日(日)、24日(土)、 25日(日)	『みつばち共和国』	舞台芸術公園 楯円堂	一般公演	動画制作・ 配信
令和2年12月5日(土) (※)	『妖怪の国の与太郎』	静岡芸術劇場	無観客ライブ配信	公演全体
令和2年12月19日(土) 20日(日)	『妖怪の国の与太郎』	静岡市民文化 会館	一般公演	動画制作・ 配信
令和3年1月23日(土) 24日(日)	『病は気から』	静岡市民文化 会館	一般公演	動画制作・ 配信
令和3年1月31日(日)	『ハムレット』	静岡芸術劇場	プレビュー公演	公演全体
令和3年2月6日(土)、 7日(日)	『ハムレット』	静岡芸術劇場	一般公演	公演全体

(※) 追加実施

(イ) 国際交流基金舞台公演オンライン配信事業

国際交流基金からの委託により、公演映像の収録及び海外への配信を行った。

開催日	演目	会場	内容
令和2年9月5日(土) ～9月11日(金)	グリム童話 ～少女と悪魔と風車小屋～	静岡芸術劇場	撮影・編集及び配信
令和3年3月4日(木) ～9日(火)	グリム童話 ～本物のフィアンセ～	静岡芸術劇場	

エ その他

(ア) リーディング・カフェ

お茶を飲みながらリラックスした雰囲気の中で、SPACのスタッフによる公演作品の解説や実際に参加者が声を出して台本を読むことにより、作品について理解を深めてもらう企画についてオンラインで実施した。

開催日	内容	回数	参加者数	開催地
12月～1月	秋→春のシーズン公演等関連企画	4	26人	オンライン

(イ) おはなし劇場

子育て世代の親子を対象とし、絵本の読み聞かせとは違い、俳優の声と音楽でつくる物語の世界を創作し、親子に演劇について理解を深めてもらう企画を県内各地で実施した。

開催日	内容	回数	参加者数	会場
8月～1月	『はりねずみときんか』『しんせつなともだち』『きつねのおきゃくさま』	16	961人	県内保育園・幼稚園、図書館、舞台芸術公園榎円堂前芝生広場他

(ウ) お茶摘み体験

舞台芸術公園の茶畑を開放してSPACのスタッフらとともに体験するお茶摘み体験については、ふじのくにせかい演劇祭中止により実施しなかった。

(エ) 各種トークイベント、ワークショップ等の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。

(オ) 劇場外での出張劇場・朗読公演等の実施

自治体や地域団体等の依頼を受け、出張劇場や朗読公演等を行い、地域イベント等の盛り上げとともに、SPACのPRを行った。

開催日	内容	回数	鑑賞者数	会場
8月1日～29日	妖怪道怨博「怪談」	40	408人	静岡市清水区内5会場
11月7日 11月21日	『詩劇 水仙と木魚—少女の歌える—』	2	41人 54人	伊豆総合高校土肥分校 御前崎市立図書館
9月21、22日 11月29日	『音芝居』	3	356人 29人	駿府城公園（ストレンジシード） 浜松市鴨江アートセンター
12月12日	『かしわばやしの夜』	1	50人	川根本町文化会館
1月17日	『守られた約束・破られた約束』	1	29人	袋井市メロープラザ
合計		47	967人	

(キ) 「ストレンジシード」の実施

静岡市からの受託事業として、招聘及び公募により選出した団体が、街の中で演劇やダンス等のパフォーマンスアーツを披露する「ストレンジシード」を実施した。

開催日	内容	出演団体数	鑑賞者数	会場
9月21日 ～22日	演劇やダンス等の パフォーミングア ーツ	25	2,584人	駿府城公園内及びその周辺市 街地

(ク) 「私のあしながおじさんプロジェクト for Family 2020」の実施

地元の団体・個人の方のご協力のもと、県内のひとり親家庭支援及び就学援助を受けているご家庭に鑑賞チケットをプレゼントし、「親子で一緒に本格的な演劇作品を鑑賞する」という体験を届けるプロジェクトを実施した。

開催日	演目	鑑賞者数	会場
12月19日、20日	『妖怪の国の与太郎』	7組14名	静岡市民文化会館
1月23日、24日	『病は気から』	4組10名	静岡市民文化会館

② 舞台芸術に関する人材育成

ア SPACシアタースクールの実施

県内の中学1年生から高校2年生の子どもたちに、演劇の魅力を講義から実技、鑑賞を通じてより深く体験することを目的として、夏休み期間に実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインを中心に実施し、成果発表会は実施しなかった。

開催日	演目	参加者数	鑑賞者数	会場
8月9日～23日	—	14人	—人	オンライン

イ 「スパカンファンプラス＝SPAC-ENFANTS-PLUS」の実施

フランスを拠点に国際的な活動を展開する振付家メルラン・ニヤカム氏を迎え、静岡の子どもたちとともに新しい舞台の創作を重ねてきたプロジェクトに、人生経験豊富な55歳以上のダンサーを加え、世代をつなぐ新たなダンスプロジェクトであるスパカンファンプラスについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためオンラインを中心に実施し、成果発表会は実施しなかった。

(※SPAC-ENFANTS＝フランス語でスパックの子どもたち)

開催日	演目	参加者数	鑑賞者数	会場
8月9日、16日	—	31人	—人	オンライン

ウ 「SPACプレゼンツ 演劇出前塾」の実施

県内の中高生に最前線の芸術家としてのプロの俳優に触れる機会を提供し、従来の高校演劇の枠にとらわれない演劇を生み出すことを目的に、SPACの専属俳優が県内の中学・高校の演劇部を訪れ、特別指導を行った。

開催日	内容	回数	参加者数	会場
3月17日 ～26日	舞台に立つ身体や、演技と役を 深めるワークショップ	5	48人	静岡県立浜北西高校、静 岡県立静岡城北高校他

エ 「SPAC1日演劇学校」の実施

県内の中学・高校演劇部員を対象に、他校の生徒と交流しながら、SPACの俳優と一緒に、“やっ、みて、かんがえて”をテーマに舞台の奥深さに迫る講座であるSPAC1日演劇学校については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面する形での実施は取り止め、「動画で開校！SPAC1日演劇学校」として、SPACが製作したレクチャー及び実践動画を提供した。

開催日	内容	視聴者数	会場
3月6日～31日	演劇史の座学とともに演技・演出手法を実践的に学ぶ講座	139人	動画の提供

オ 「放課後えんげき教室」の実施

小学生の子どもが過ごす「放課後こども教室」や「放課後児童クラブ」において、子どもたちの活動の充実を図る目的で、SPACの俳優やスタッフが培ってきた経験や技術をもとに演劇の上演やワークショップを実施した。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、急遽中止となってしまった児童クラブ（静岡市服織第一児童クラブ、御殿場市立高根小学校放課後児童クラブ）に対してDVDを送付し、児童クラブ内で鑑賞してもらった。

開催日	内容	回数	参加者数	会場
8月3日	『音芝居』上演	1	120人	静岡市船越児童クラブ

カ 「みんなで育てよう！ダンスの種プロジェクト」の実施

SPACのスタッフをダンスの講師として学校に派遣し、子どもたちがコンテンポラリーダンスを通して身体と音楽で遊び、作品を創作する、ダンス教育の指導支援を行った。

開催日	内容	回数	参加者数	対象
8月19日	ダンス作品の創作・発表	1	18人	ゆいまある放課後特別支援部
12月4日	ダンス作品の創作・発表	1	13人	NPO 法人あたらしい学校
1月8日、15日	ダンス作品の創作・発表	2	31人 34人	静岡県立浜名定時制高等学校

キ 「異才・天才・奇才SPACこども大会」の開催

子どもたちの感性あふれる表現力を育てるとともに、次世代の舞台芸術の担い手を育て応援するために、県内の小学生を対象として、歌唱、舞踊、演奏、その他様々な身体芸などの才能を発揮する「こども大会」の開催を実施した。

開催日	内容	参加者数	入場者数	会場
3月20日、21日	歌唱、舞踊、演奏、その他様々な身体芸の発表	63人	166人	静岡芸術劇場

ク 「SPACシアターアーツ・ラウンジ」の開講

演劇後に、演劇の感想・批評をはじめ、現代の日本が抱えている社会的な問題について、政治・経済・文化・芸術などのさまざまな切り口からの討議・意見交換を行うアーティストトークについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。

ケ バックステージツアーの実施

SPAC創作・技術部により舞台裏の案内するバックステージツアーについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。

コ 「はじめての演劇鑑賞講座」の実施

上演作品について、より深く理解してもらうため、主に中高生を対象とし、SPAC俳優による上演作品の解説と終演後のバックステージツアーを組み合わせた演劇鑑賞講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。

サ 「SPACおためし劇場」の実施

主に普段演劇を観る機会のない方を対象に、気軽に劇場体験ができる機会を提供するため、無料で稽古見学や演出家・スタッフの説明を聞くことができる SPAC おためし劇場については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。

シ 「劇的婚活！@SPAC」の実施

「しずおかエンジェルプロジェクト」を展開する静岡市との共催で、観劇を含めた婚活プロジェクトである「劇的婚活！@SPAC」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。

ス 「静岡県子どもが文化と出会う機会創出事業（演劇）」の実施

静岡県からの受託事業として、静岡県内における芸術文化の振興と裾野の拡大を目的とし、子どもたちに多様な文化と出会い、体験する機会を提供するプログラムを実施した。

(ア) 学校訪問プロジェクト

「ひらけ！パフォーミングアーツのとびら」と題し、県内の小・中学校、高等学校、特別支援学校、放課後児童クラブなどを対象に、俳優・スタッフが訪問し、子どもたちに演劇を体験する機会を提供した。

開催日	内容	施設数	参加者数	会場
6月23日～ 3月24日	朗読講座、ワークショップ、演劇創作、ダンスプログラム、出前劇場等	23	1,967人	浜松市立熊小中学校、大富士放課後児童クラブ 他

(イ) 出張公演

地域の公共ホール等で中学校・高校・特別支援学校を対象とした出張公演を行い、遠隔地の子どもたちに本物の演劇に触れる機会を提供した。

開催日	演目	公演数	鑑賞者数	会場
10月21日～ 3月11日	『妖怪の国と太郎』『ハムレット』	11	2,563人	裾野市民文化センター 他3会場

③ 舞台芸術に関する活動の支援

ア 「SPAC県民月間」の実施

県内を中心に演劇やダンス、音楽等の舞台芸術活動を行っている団体を募集し、舞台芸術公園を使用しての自主的な創造・上演活動を支援した。

開催日	団体名	演目	公演数	鑑賞者数	会場
8月29、30日	K's pro.	『NUTCRACKER』	2	320人	舞台芸術公園(野外劇場)
2月20、21日	劇団Z・A	「劇リンピック」	(2)	(80)	(オンライン)

イ 人材の派遣と技術支援

静岡県、県内市町及び県内大学等へ委員・講師などとして派遣した。

派遣先	内容
静岡県	「人づくり・学校づくり」実践委員会 委員派遣

静岡県	ふじのくに芸術祭企画委員会 委員派遣
静岡県	ふじのくに子ども芸術大学実行委員会 委員派遣
静岡県	小・中・高校教員初任者研修 講師派遣
静岡県	静岡県文化プログラム推進委員会理事会 理事派遣
(公財) 静岡県文化財団	ふじのくに文化プログラム推進事業補助金審査委員会 委員派遣
(公財) 静岡市文化振興財団 (大里中学校)	演劇ワークショップ 講師派遣
日本アートマネジメント学会	公演登壇
日仏演劇協会	会報誌 ZOOM インタビュースタッフ派遣
特定非営利活動法人舞台芸術制作者オープンネットワーク	舞台芸術制作者オープンネットワーク (ON-PAM) 登壇
特定非営利活動法人ヒューマン・ケア支援機構	認知症相談カフェオンライン講習会講師派遣
静岡県高等学校文化連盟静岡県 高等学校演劇協議会	審査員兼講師派遣
静岡県高等学校文化連盟静岡県 東部高等学校演劇協議会	演劇研究大会審査員派遣
静岡英和学院大学	集中講座「演劇論」講師派遣
静岡文化芸術大学	非常勤講師派遣
伊豆総合高等学校土肥分校	文化庁 文化芸術による子供育成総合事業 講師派遣
浜松大平台高等学校	文化庁 文化芸術による子供育成総合事業 講師派遣
森町立三倉小学校	文化庁 文化芸術による子供育成総合事業 講師派遣
清水南高校中等部	卒業制作発表会スタッフ派遣
静進情報高等専修学校	キャリアデザイン(演劇ゼミ) スタッフ派遣
静岡市	駿河学びのまちづくりランドデザイン検討会議 委員 派遣
磐田市	「磐田こどもミュージカル」育成委員会 講師派遣
掛川市	掛川市文化政策審議会 委員派遣
劇団静岡県史	菊川市河城地区センター演劇ワークショップ 講師派遣

ウ 舞台芸術に関する研究誌の発行

「ふじのくにせかい演劇祭」や「秋→春のシーズン」のテーマ等について各界の専門家による対談や論考を掲載した研究誌「劇場文化」を発行した。

④ 「ふじのくにせかい演劇祭 2020」の開催

静岡から世界に向けて情報発信する国際的な舞台芸術の祭典「ふじのくにせかい演劇祭 2020」について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止・変更し、オンラインを中心とした「くものうえせかい演劇祭」を開催した。(累計視聴回数 56,088 回(コア企画 30,881 回、ブロッサム企画 25,207 回))

〈おちょこ企画〉	おちょこのバーチャル稽古
	『おちょこの傘持つメリー・ポピングのいない劇場』
	くものうえフェスティバル bar
	「詩とメルヒェン」
	デザイナー・インタビュー 等

<アンティゴネ企画> 主催:ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会	『アンティゴネ』（アヴィニョン演劇祭 2017）全編上映
	出演者・スタッフからのメッセージリレー
	アンティゴネ Zoom 版盆踊り稽古
	the moments～『アンティゴネ』舞台写真より～ 等
<おちょこ・アンティゴネ合同企画>	Zoom in Training!
<映像作品>	ワジディ・ムアウッドによる日記の朗読
	オマール・ポラスによる『虹のドレス』
	クリスティアヌ・ジャタヒー監督映画『Utopia. doc』
	オリヴィエ・ピイのグリム童話『愛が勝つおはなし～マレーヌ姫～』全編上映
	キリル・セレブレンニコフ監督映画『The Student』
<トーク企画> くものうえでも出会っちゃえ	ワジディ・ムアウッド×宮城聡
	オマール・ポラス×宮城聡
	クリスティアヌ・ジャタヒー×宮城聡
	オリヴィエ・ピイ×宮城聡
	キリル・セレブレンニコフ×宮城聡
	《くものなかから、これからの演劇を》編
	《くものうえから、SHIZUOKA を》編 等
<関連企画>	開幕メッセージ
	閉幕メッセージ

⑤ SPAC の劇配～アートがうちにやってくる～

「電話 de 名作劇場」、「教科書朗読プロジェクト」、「出張ラジヲ局」、「一日放送委員会」、「SPAC アートお届け工房」等を実施した。

⑥ 「ふじのくにみせかい演劇祭 2021」の開催準備

令和3年度に開催する「ふじのくにみせかい演劇祭 2021」の内容検討・広報等の諸準備を行った。

⑦ 「ふじのくに野外芸術フェスタ 2020」の開催

野外芸術で「ふじのくに」の魅力の発信や賑わいを創出し、国内外からの誘客・交流人口の拡大と「ふじのくに芸術回廊」の実現を目指すふじのくに野外芸術フェスタ 2020 については、静岡会場は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したものの、掛川会場は実施した。

ア 駿府城公園（静岡市葵区）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

イ 大日本報徳社大講堂前広場（掛川市）

開催日	演目	出演団体等	公演数	鑑賞者数
10月31日 11月1日	『おおっとええっとええじゃないか』	演出：寺内亜矢子 出演：SPAC	4	323人

⑧ 舞台芸術公園の管理（県からの指定管理業務）

ア 静岡県から指定管理者の指定を受け舞台芸術公園の維持管理業務を実施した。

指定管理業務の内容			
施設内警備	施設内清掃	空調設備保守点検	消防設備保守点検
電機設備保守点検	給水設備保守点検	汚水処理施設保守点検	舞台照明設備保守点検
舞台音響設備保守点検	舞台機構設備保守点検	植栽等園地管理	公園内施設の各種修繕
施設内警備	施設内清掃	空調設備保守点検	消防設備保守点検

イ 指定管理者業務に付随して舞台芸術公園の利活用促進を実施した。

SPACの活動拠点である舞台芸術公園のPRのため、SPAC俳優等がガイドになって、園内を散策しながら野外劇場「有度」、屋内ホール「楯円堂」、稽古場棟「BOXシアター」の見学ができる企画「すぱっく おーぷんでい in 舞台芸術公園」を実施した。

開催日	内容	参加者数
12月6日	自由散策、SPAC俳優によるガイドツアー、各劇場での施設案内等	63人

⑨ 賛助会員及びSPACの会

ア 会員の状況（令和3年3月31日現在）

		人数及び団体数
賛助会員	個人	12人
	法人	39団体
	個人特別	0人
	法人特別	6団体
SPACの会	個人（ゆうゆう）	204人（98人）
	法人サポーターズクラブ	12団体

イ 「スペシャルサンクスデー」の実施

SPAC俳優による賛助会員及びSPACの会会員を対象としたおもてなし企画スペシャルサンクスデーについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。

【収益事業】

① カフェ・物販事業の実施

舞台芸術への理解や知識を深めるとともに、SPACの活動に親しみを持つことを目的に、げきとも鑑賞事業パンフレットの作成・物販を行った。カフェの営業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施しなかった。

② 舞台芸術公園飲料自動販売機設置運用事業の実施

舞台芸術公園の利用者サービスの向上と当法人の収入増を図るため、舞台芸術公園に飲料自動販売機を設置し運用した。